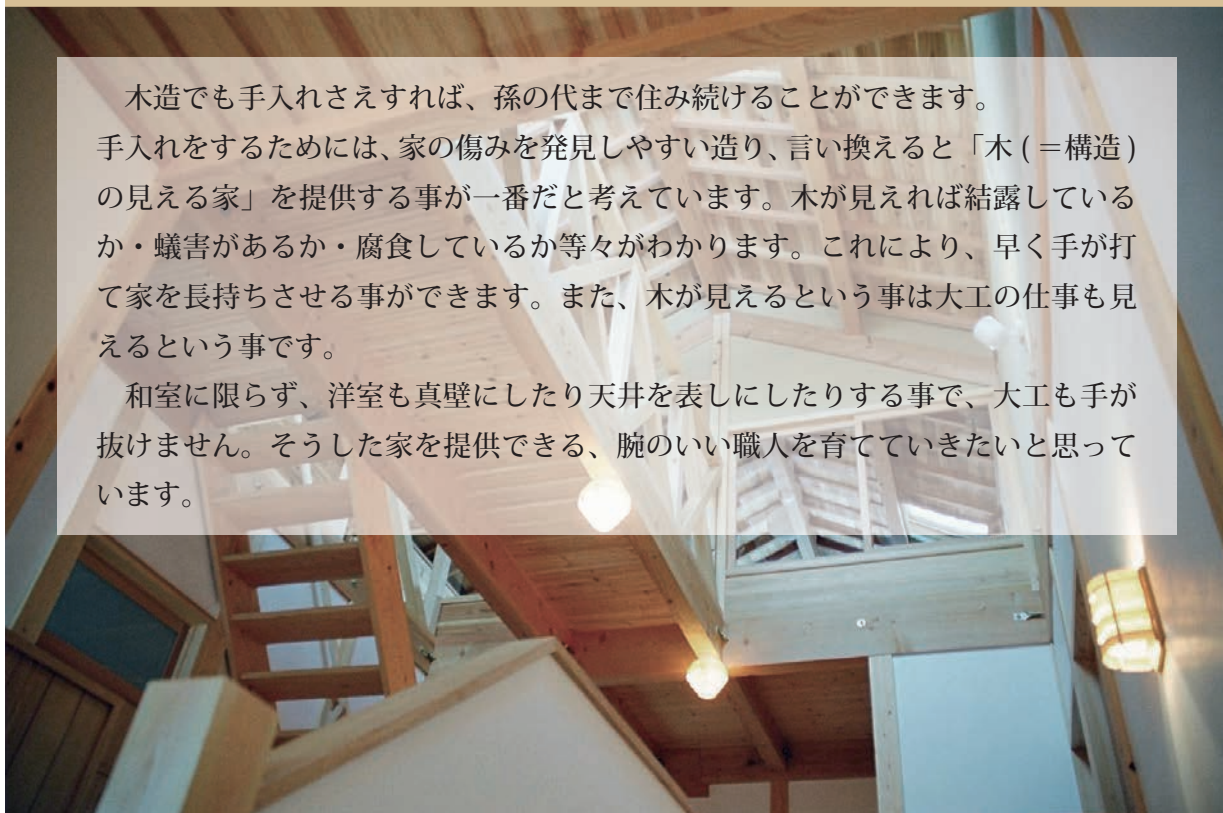


木の見える仕事をします

木造でも手入れさえすれば、孫の代まで住み続けることができます。手入れをするためには、家の傷みを発見しやすい造り、言い換えると「木(=構造)の見える家」を提供する事が一番だと考えています。木が見えれば結露しているか・蟻害があるか・腐食しているか等々がわかります。これにより、早く手が打て家を長持ちさせる事ができます。また、木が見えるという事は大工の仕事も見えるという事です。

和室に限らず、洋室も真壁にしたり天井を表しにしたりする事で、大工も手が抜けません。そうした家を提供できる、腕のいい職人を育てていきたいと思っています。



↑ 吹抜天井：合板を使わず全て木と土の仕上。



↑ 階段：余分な材を見せないシンプルなつくり。

外観：町並に合わせ落ち着いた雰囲気。 ↓



台所：建具を全開するとリビングと一体化。 ↑

寝室：軒が長いのでトップライトを活用。 →



↑ 玄関：純和風。三方から灯りが差し込む。



階段：外壁からはねだした鉄板を杉板で挟む。 →

